

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング
【施策番号 24169：我が国の宇宙技術の世界展開（文部科学省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 22 日（水） 17:30～18:00
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 第 3 特別会議室
- 3 聴取者：白石議員、相澤議員、奥村議員
外部専門家 6 名（うち若手 2 名）
内閣府 岩瀬審議官、梶田審議官、廣木参事官
- 4 説明者：文部科学省 宇宙開発利用課 佐伯課長、
宇宙開発利用課宇宙利用推進室 松浦室長
（独）宇宙航空研究開発機構 道浦執行役 他
- 5 施策概要

世界を圧倒的にリードした「はやぶさ」、技術力の高さを実証した「HTV」の技術を発展させ、その背景にある我が国の宇宙産業の技術力の高さを海外にアピールする。

また、防災、環境監視、地図作成、森林・国土管理、水・資源管理など、我が国の環境・エネルギー大国戦略により推進されるグリーン・イノベーション施策の効果を全球的に検証する手段を確保する観点から、地球環境観測衛星網を構築し、衛星データの利用促進を図る。この地球観測衛星網の構築を基礎として、宇宙システムの活用を導入しようとする宇宙新興国が宇宙システムを活用する上で必要な能力開発や人材育成・派遣をパッケージとして提供することにより、我が国の優れた衛星開発技術、衛星データ利用技術等の展開を図る。

特に、アジア地域においては、アジア・太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF）、センチネルアジアなどの既存の枠組みとともに、平成22 年度に構築したアジア開発銀行との協力枠組み等を最大限に活用して国際協力を推進する。

以上により、地上インフラの整備が進んでいない新興国の宇宙システム利用の礎を構築し、我が国の宇宙システムの海外展開を加速させる。

6 質疑応答模様

【白石議員】

戦略 1～3 の予算の配分は？

【文部科学省】

戦略 1 が 35 億円、戦略 3 が 5 億円と JICA やアジア開発銀行からのファンド、残りの予算が戦略 2 である。

【白石議員】

ニーズ発掘や人材についてだが、途上国に対して、どこをターゲットにしてどのようなことを教えるのかがはっきりしない。

【文部科学省】

国によって差があると考えられるが、宇宙機関会議や、防災データ提供システムに関連するコミュニティを活用したいと考えている。

【相澤議員】

従来の施策と比べて目標設定が変わったところはどこか？戦略2「ニーズに対応した宇宙システム/アプリの提供」に関するところか？

【文部科学省】

戦略2の実施を押し出したところである。戦略2を戦略1と3が支えるという構図である。衛星をいかに途上国に利用してもらうかにシフトした。

【文部科学省】

5月末と8月末の宇宙開発戦略本部決定に、日本の宇宙技術・システムを海外に展開することが記載され、宇宙開発戦略本部にタスクフォース(TF)が設置され、各省が出席し、第1回を開催している。また、南米にも官民合同でミッションを行うなど、各省が連携して進めている。

【奥村議員】

宇宙事業の成長について、半分がハードの市場であり、半分は利用の市場である。現在の取組は政府間同士の利用であって、市場と遠いのではないか。競争相手としての仮想敵が明確でない。

【文部科学省】

宇宙に関して最初からビジネスに移行する国はない。最初は公的機関から開始し、その後スピンアウトを行う。

【文部科学省】

南米訪問の際にも、相手国は、信頼できる政府レベルの協力は重要との認識であった。仮想敵を含め、戦略については、TFで関係者が議論を行っている。

【外部専門家】

戦略3についてイギリスが成功しているが、日本には、イギリスには無い相手国の製作する衛星を日本で打ち上げるということを打ち出すべき。

【(独)宇宙航空研究開発機構】

ベトナムの小型衛星を日本のH-IIAロケットで打ち上げることが計画。

【外部専門家】

ALOS-2の研究開発目標である陸域植生分布について説明してほしい。

【(独)宇宙航空研究開発機構】

森林分類、伐採、水田の耕地面積分布等を含めて陸域植生分布としている。

【外部専門家(若手)】

はやぶさ2の純粋な理学研究は本施策とは別プロジェクトなのか？

【文部科学省】

本施策に含まれており、理学研究についても考えて進めている。

以上